アヲハタグループ
環境・社会報告書 2013

アヲハタ株式会社

目　次

ごあいさつ …… 1
経営理念・経営方針 …… 2
コーポレートガバナンス・コンプライアンス …… 3

■環境への取り組み …… 4
トピックス …… 5
地球環境とともに …… 8
生産３工場の環境負荷状況 …… 9

■社会への取り組み …… 10
トピックス …… 10
お客様とともに …… 12
お取引先とともに …… 13
株主・投資家とともに …… 14
仲間とともに …… 15
地域・社会とともに …… 17

■資料編 …… 18
環境会計 …… 18
生産工場の環境負荷状況 …… 19
会社概要 …… 21

編集方針

この報告書は、より多くの方にアヲハタグループの環境保全活動や社会的な取り組みを知っていただくため、コミュニケーションの一環として作成しました。写真、イラスト、グラフなどをできるだけ多く用い、「見やすく」、「分かりやすく」に留意し編集しました。構成と開示内容については、環境省「環境報告ガイドライン（2007 年版）」を参考にしています。

なお、本報告書は、当社ホームページに掲載しています。
URL　http://www.aohata.co.jp/

本報告書の対象範囲

【対象範囲】：主要な実績については、アヲハタグループの生産工場であるアヲハタ㈱ジャム工場、東北アヲハタ㈱、芸南食品㈱ のデータを集計し記載しました。環境保全活動や社会的な取り組みに関しては、アヲハタグループ各社の内容も含んで記載しています。

【対象期間】：2011 年 11 月 1 日～ 2012 年 10 月 31 日
取り組み内容については、一部 2012 年 11 月以降のものも記載しています。

【発行月】：2013 年 6 月

ごあいさつ

2012 年 6 月にリオデジャネイロ（ブラジル）において、「国連持続可能な開発会議（リオ＋ 20)」が開催され、「我々が望む未来」には環境保護と経済成長を両立する「グリーン経済」が重要だという認識で一致し、各国に実現を努力するよう求めました。果実など、太陽と水と土が育む豊かな実りを主原料として扱う私たちは、地球環境と密接に結びついており、環境に配慮した事業活動を展開することがＣＳＲの一つであり、持続可能な社会の実現に繋がるものだと考えております。

当社の始まりは、前身である株式会社旗道園が広島のみかんを缶詰加工する目的で 1932 年に創業したときにさかのぼります。以来「缶詰は中身が見えないからこそ正直者がつくらなければならない」の信念のもとに、缶詰技術を応用し、素材の新鮮さ、風味を生かした安全、安心な食品づくりに取り組んで参りました。社訓「正直・信用・和」は、この実践の中で培われ、不変の経営理念として、社員一人ひとりの心の中にしっかりと定着しています。

ＣＳＲへの取り組みについても同様で、「素材の持つ魅力をお客様にお届けすることで、豊かな食生活と健康に貢献すること」が、当社グループの社会的使命であり、その為にも常に『正直』であり続けたいと考えています。

当社は、2013 年３月 18 日に広島県と「包括的連携に関する協定」を締結しました。広島県内に本社を持つ企業として、県産品を使ったオリジナル商品の開発をはじめ、観光情報・振興に関することなど、地域活性のお手伝いをしてまいります。

また、2012 年４月に工場見学者の受け入れやジャムづくりが体験できるＰＲ施設「アヲハタ ジャムデッキ」をオープンしましたが、お陰様で１年間に約１万５千名の方々にご来場いただきました。今後も「アヲハタ ジャムデッキ」を通してアヲハタジャムや当社に親しみをもっていただきたいと考えています。

本報告書を通じて当社グループの環境や社会に対する取り組みをご理解いただき、皆様のご意見やご感想を賜れば幸いです。

2013 年 6 月
アヲハタ株式会社
代表取締役社長　野澤栄一

経営理念・経営方針

社　訓

1．正直

1．信用

1．和

社　是

1．安全と衛生を第一とすること

1．最高の品質を追求すること

1．生産性の向上を図ること

経営方針

当社グループは、社訓ならびに社是を経営理念の核に置くとともに、創立 60 周年にあたる平成 20 年を機に具体的なありたい姿として、以下の長期ビジョン 2018 を制定しました。

この長期ビジョンの実現を通してより魅力ある企業を目指してまいります。

ビジョン 2018

我々、アヲハタ株式会社は農産加工を原点に持つ会社として、その社会的使命を「素材の持つ魅力をお客さまにお届けすることで、豊かな食生活と健康に貢献すること、そして、妥協することなく社訓・社是の実践に取り組み続けること」と認識し、2018 年に向けた目標を以下のとおり掲げます。

「お客様の求める価値の実現」	技術にこだわり、お客様の求める価値を実現しよう
「海　外　展　開」	栽培と農産加工技術をもとに、世界に展開しよう
「人　の　育　成」	一人ひとりが成長し、企業力を高めよう
「社会的責任を果たす」	社会の要請に、誠実に対応しよう

私たちが目指す人間像

「正直」を実現するためには、“勇気”が必要です。

“勇気”とは、失敗を恐れずに困難に立ち向かうことであり、その結果、もし自分が失敗したり間違ったりしたときにはその失敗や間違いを素直に認めることができること、そして人が間違っているときに間違っていると素直に指摘できることです。

また、食品企業としての「信用」を守るためには“清潔”で“誠実”なことが必要です。

「和」を実現するためには人に対する“愛情”と何が本当に重要かを判断するための“知識”が必要です。

私たちは、「正直で勇気のある人」、「清潔で誠実な人」、「愛情と知識を大切にする人」を目指します。

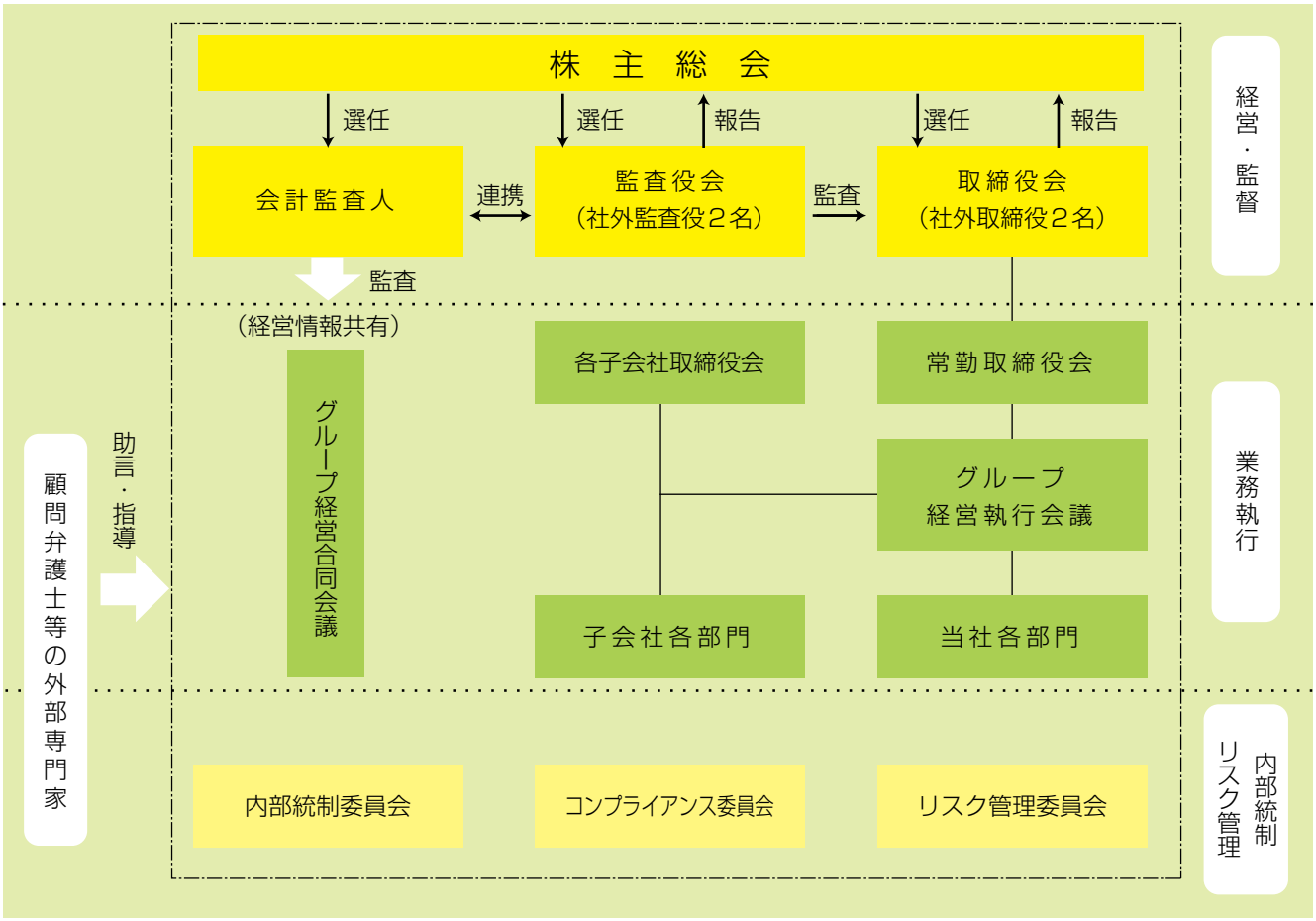
コーポレートガバナンス・コンプライアンス

コーポレートガバナンス

当社グループは、社訓「正直・信用・和」を経営の根幹に置き、「缶詰は中身が見えないからこそ正直者がつくらなければならない」という信念のもと遵法精神に基づき誠実で透明性の高い会社運営を実践してまいりました。

今後も効率的な経営によって企業価値の最大化を図り、経営上の組織体制や仕組み・制度などを整備するとともに、企業の永続的な発展のために不可欠なコンプライアンス体制の整備や、環境保全活動、地域・社会貢献活動などに取り組み、顧客、株主、取引先、社員、地域・社会の人々から信頼と満足を得られる魅力ある企業づくりを進めてまいります。

なお、会社の機関・内部統制の関係は以下のとおりです。



コンプライアンス

当社グループでは、役職員が法令・定款および社訓・社是を順守した行動をとるための「アヲハタ行動規範」を制定し、周知徹底を図っています。

また、法令・定款等に適合した企業行動・組織運営をおこなうための体制を整備するため、コンプライアンス規程を制定し、代表取締役を委員長とするコンプライアンス委員会においてグループ全体のコンプライアンスへの取り組みを推進し、役職員に対するコンプライアンス教育をおこなっています。

なお、コンプライアンス上の問題の未然防止および早期発見と適正な処置をおこなうため、内部通報制度「アヲハタグループ コンプライアンス 110 番」を設け、通報・相談窓口を社内と社外に複数設置することにより、情報の確保と適切かつ迅速な対応に努めています。

環境への取り組み

当社は、自然の恵みである農畜水産物を加工し、製品づくりをおこなってきました。また、当社創業の地であり、本社・ジャム工場所在地である広島県竹原市忠海は、瀬戸内のほぼ真ん中に位置し、風光明媚な土地です。恵み大きい自然、地球に感謝し、その恩恵を永遠に享受できるよう、環境保全活動には積極的に取り組んできました。この章では、環境について当社グループの取り組みをご紹介します。

アヲハタグループ環境方針

アヲハタグループは、瀬戸内海沿岸にある風光明媚な広島県竹原市や、最上川が流れる自然豊かな山形県大石田町に立地し、主にジャム類や調理食品などの食品の製造・販売を行う企業グループとして、環境保全活動を社会的責任と理解し、地域・社会から信頼される事業活動を進めてまいります。

（1）アヲハタグループの事業活動・製品及びサービスに係わる環境関連法規・規則・協定およびアヲハタグループが同意するその他の要求事項を順守します。

（2）アヲハタグループの事業活動・製品及びサービスが環境に与える影響を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

（3）アヲハタグループは、環境目的・目標を設定して、全構成員で環境保全に取り組むとともに定期的な見直しをします。

（4）以下の項目を本来業務の目標管理と連動し、環境管理重点テーマとして取り組みます。

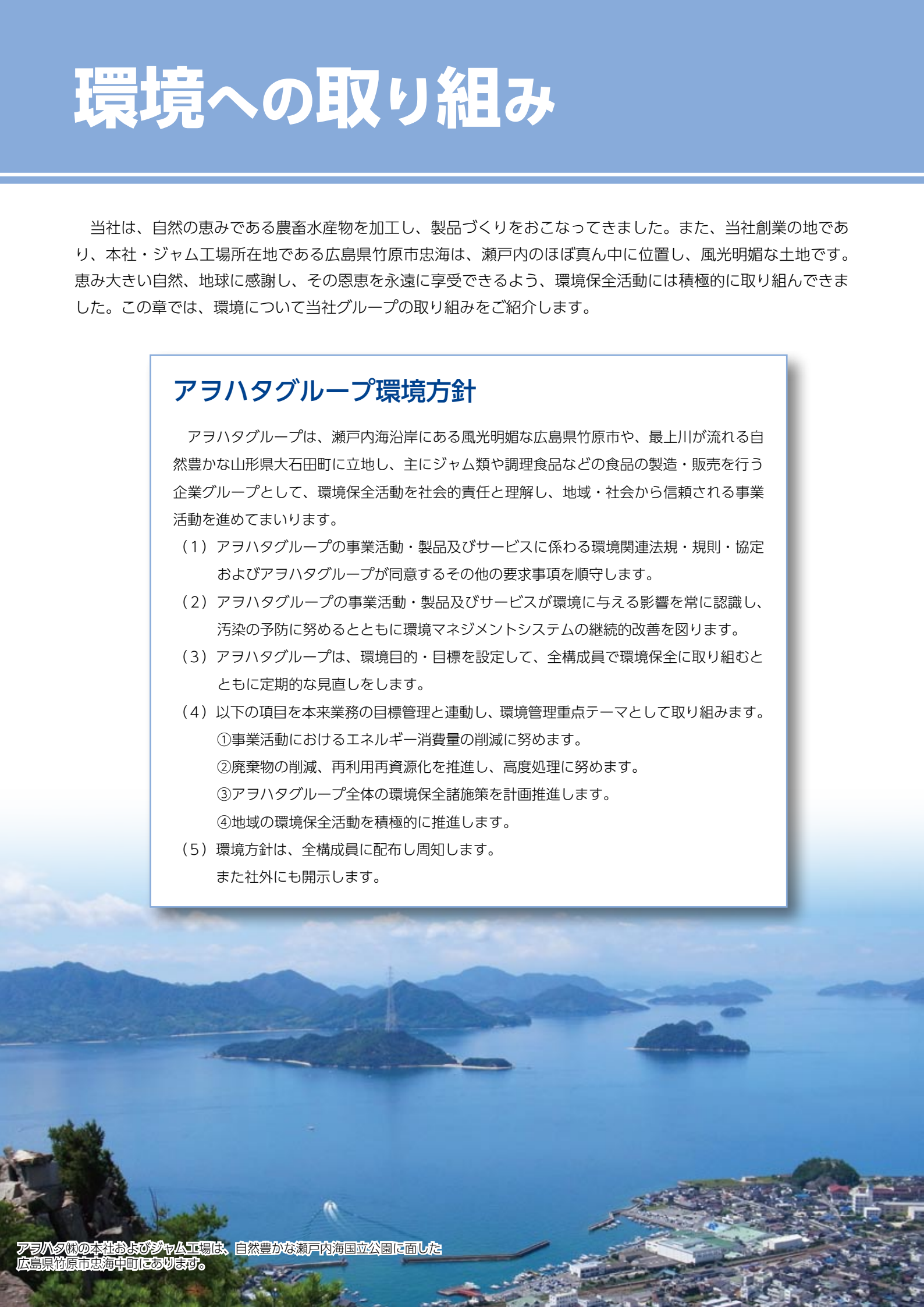
①事業活動におけるエネルギー消費量の削減に努めます。

②廃棄物の削減、再利用再資源化を推進し、高度処理に努めます。

③アヲハタグループ全体の環境保全諸施策を計画推進します。

④地域の環境保全活動を積極的に推進します。

（5）環境方針は、全構成員に配布し周知します。
また社外にも開示します。



アヲハタ㈱の本社およびジャム工場は、自然豊かな瀬戸内海国立公園に面した広島県竹原市忠海中町にあります。

トピックス

本報告書対象期間中の環境への取り組みをトピックスとして取り上げました。

ボイラーのガス化（東北アヲハタ㈱、芸南食品㈱）

2013 年 1 月、東北アヲハタ㈱と芸南食品㈱にガスボイラーを導入しました。

二酸化炭素の排出量を年間で 677 トン -CO_2 削減予定です。

燃料転換により、燃焼時に発生する排気ガスには硫化物やすす等の人体に有害な物質がほとんど含まれていません。

防液堤の設置（ジャム工場）

緊急事態の発生に備え、毎年定期的な訓練をおこなっていますが、予防措置として「防液堤」を設置し、流出リスクを減らしました。

「防液堤」とは、設備や屋外タンク貯蔵所等から万が一液体が漏れ出した際に、その設備、装置以外の箇所に漏れ出ることを防止する為のフェンスの役割をする堤です。

空調機・恒温機の更新（ジャム工場）

省エネタイプに更新することにより、電力消費量を年間約 160kWh 削減しました。

サクションスクリーンの更新（東北アヲハタ㈱）

工場内から排出される排水の固液分離能力がアップし、排水処理への負荷が減少しました。

輸送の効率化（ジャム工場、芸南食品㈱）

使用する資材の 1 回当たりの配送量を変更し、配送回数を削減しました。

配送回数を削減することにより、輸送時の CO_2 排出量削減や運送燃料の削減につながりました。

食堂の省エネ対策（ジャム工場）

空調機と厨房換気扇を更新しました。これにより、電力消費量を年間約 15,150kWh 削減できる予定です。

また、電力消費量の動きを確認し、適切なエネルギー管理をおこなうためにデマンドモニターを設置しました。

照明機器の更新（東北アヲハタ㈱）

節電対策として照明機器の更新時には、２灯分の明るさを１灯で、ランプ寿命も従来の１．５倍長い省エネタイプの蛍光灯を導入しています。

電力消費量を年間で約 2,000kWh 削減しました。

トピックス

電子マニフェストを導入しました（ジャム工場、芸南食品㈱）

電子マニフェスト*の導入により、事務処理の効率化を図るとともに、データの透明性が確保され、法令の遵守を徹底することができるようになりました。

＊マニフェスト制度

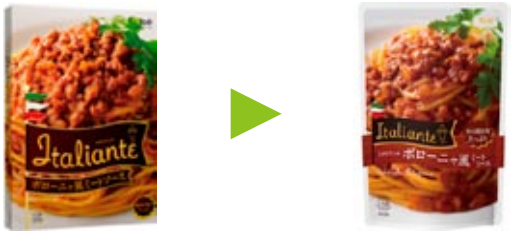
排出事業者が収集運搬業者、処分業者に委託した産業廃棄物の処理の流れを自ら把握し、不法投棄の防止等適正な処理を確保することを目的とした制度です。

排出事業者は、マニフェスト（電子または紙）を使用して、委託した産業廃棄物が最終処分まで適正に処理されたかどうか確認する義務があります。

（ＪＷＮＥＴより）

省資源の取り組み（東北アヲハタ㈱）

「キユーピー・イタリアンテ」シリーズの化粧箱を廃止し、紙の使用量を年間で約６トン削減しました。



環境勉強会の実施（３工場）

定期的に環境勉強会等を開催し、従業員一人ひとりの環境意識の向上を図っています。

ゴーヤビズ（ジャム工場、芸南食品㈱、本社）

夏場の節電対策として、緑のカーテンで節電効果を高めています。

本社エリアの取り組み

オフィスでの節電対策として、クールビズやウォームビズを実践し、空調の温度管理や支障のない範囲で照明を消灯しています。

また、年数が経過した冷凍冷蔵庫を高効率のものに更新しました。

リースカーの更新（本社）

リースカーの更新時に二酸化炭素や窒素酸化物などの排出量の少ないエコカーを導入し、二酸化炭素の排出量を年間で 1.2 トン -CO_2 削減しました。

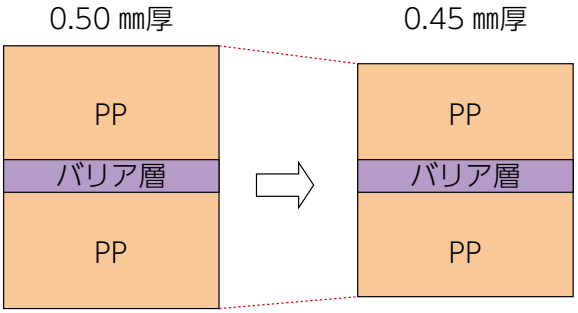
トピックス

省資源の取り組み

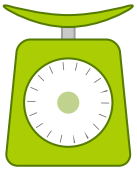
●ポーションシートの薄肉化

ポーションジャムのシートの厚みを 0.50mm から 0.45mm へと薄肉化しました。
この取り組みにより、年間 7.0 トンの省資源となります。

14g
ポーションタイプ



資源削減量
約 7.0 トン/年



●びんの軽量化

2013 年春に「アヲハタ 55 ジャム」シリーズのリニューアルをおこない、従来びんと同様に軽量びんを採用しました。軽量びん以外にも点字の表示やキャップの開けやすさにも継続して配慮しました。

小容量 165g

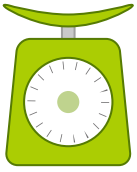
中容量 310g

大容量 450g

●「アヲハタ 55 ジャム」カートンの荷合わせ方法の変更

荷合わせの方法を PP バンドからクラフトテープへ変更しました。PP バンド（3.4g/ ケース）からクラフトテープ（2.1g/ ケース）に変更することにより、廃棄物の重量が年間約 1.5 トン低減できます。

資源削減量
約 1.5 トン/年



地球環境とともに

ＩＳＯ 14001　アヲハタグループ統合認証

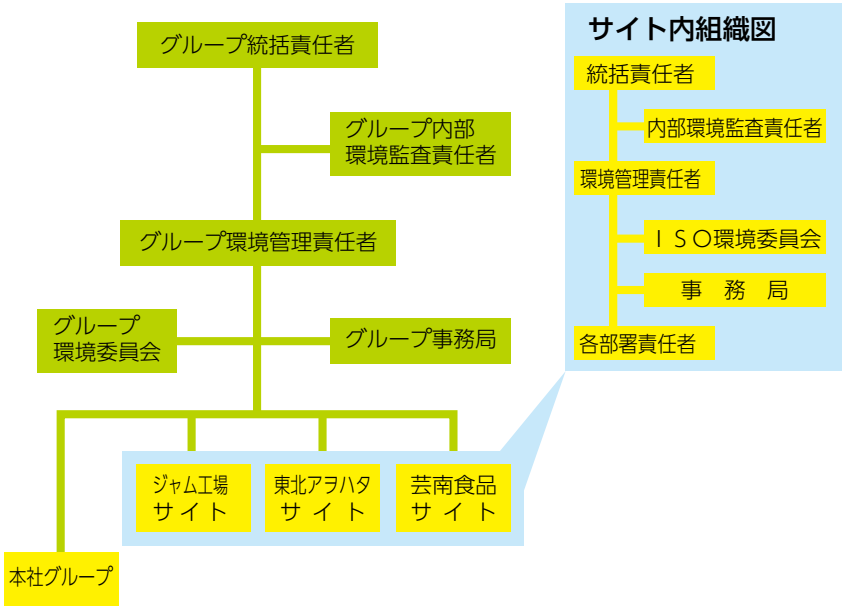
1999 年、アヲハタ㈱ジャム工場で ISO14001 を認証取得し、その後連続して各生産工場および本社部門全てで認証取得しました。

また、アヲハタグループ全体の環境マネジメントシステムの更なる向上を図るため、2007 年６月に４サイトの統合をおこない、10 月に「アヲハタグループ」として認証を取得しました。

各サイトで同じ方針のもとに運用し、効率良い環境保全活動を推進しています。

▲認証登録証

ＩＳＯ14001　アヲハタグループ組織図



2012 年度の環境目標と実績

課題・テーマ ＼ 項目		管理指標	基準年度	2012 年度		
				目標	成果	自己評価
地球温暖化の防止	CO_2 排出量	CO_2 原単位	2011	100%以下	102.3%	△
資源の有効利用	エネルギーの削減	原単位	2011	99%以下	102.2%	△
	使用水の節約	原単位	2011	100%以下	98.9%	○
循環型社会の形成	排出物の削減	排出量	2011	100%以下	102.9%	△
	排出物の再資源化の向上	再資源化率	2011	100%以上	100.0%	○
	排出物の有価率の向上	有価率	2011	100%以上	97.9%	△

※自己評価の基準（目標に対し）　10%以上達成：　◎　　10%未満達成：　○
５%未満未達成：△　　５%以上未達成：×

環境関連法令順守と苦情の状況

2012 年度中のアヲハタグループの事業活動における環境の法令、条例等の違反行為はありませんでした。また、環境に関する苦情もありませんでした。

生産３工場の環境負荷状況

生産３工場の環境負荷（2012 年度）

Input

原料

全原料	25,543	t

容器・包装資材

ガラスびん	8,758	t
プラスチック容器	495	t
金属缶（蓋）	794	t
ダンボール	2,402	t
その他	3	t

エネルギー

電力	97	千GJ
燃料	103	千GJ
用水	471	千㎥

生産工場

再資源化率 99.2%

Output

商品（容器含む） 43,143 t

大気排出

CO_2	12,233	t
NO_X	9	t
SO_X	41	t

排水

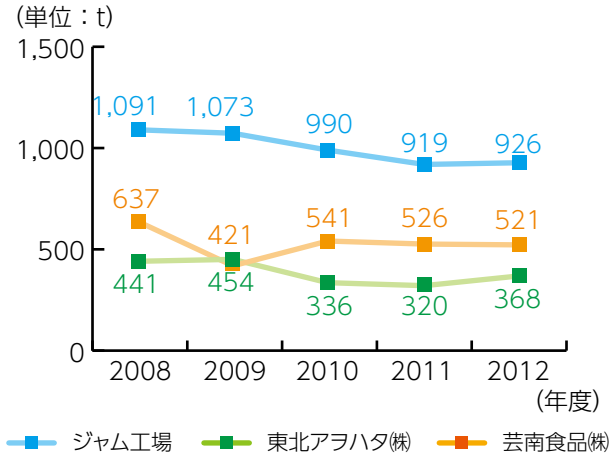
排水	424	千㎥

廃棄物

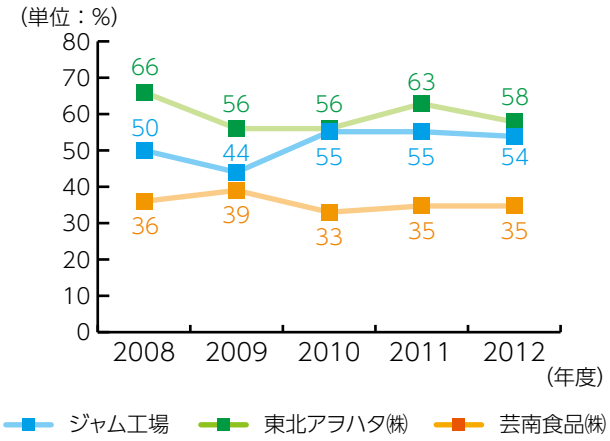
再資源化	1,800	t
焼却・埋立	15	t
有価率	49	%

再資源化の状況（2012 年度）

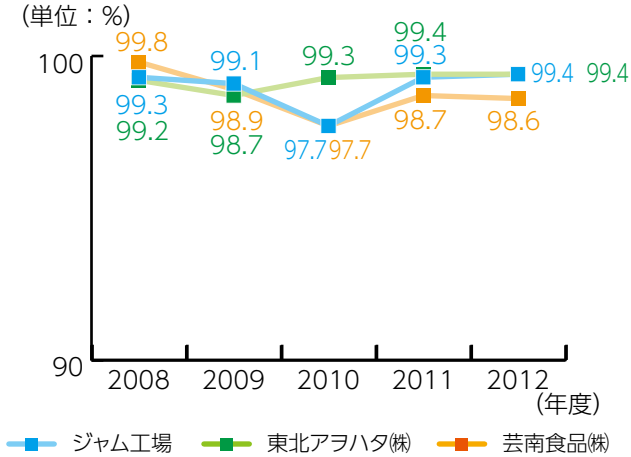
排出物量の推移



有価率の推移



再資源化率の推移



社会への取り組み

いつも「正直」であること…。

アヲハタグループは創業以来、瀬戸内の風土に育まれ、
社訓「正直　信用　和」を基本として事業を展開してきました。
今後も、良心のこもった最良の食品を提供する使命のなかで、
当社グループに関わる方々に対して常に「正直」であり続けたいと思います。

トピックス

広島県と「包括的連携に関する協定」を締結

2013年３月18日、広島県と当社は、県産品を使ったオリジナル商品の開発や観光情報・振興に関することなど、県の広範囲にわたる事業を協働して実施するための「包括的連携に関する協定」を締結しました。

「包括連携協定」とは、官民相互のノウハウ等を活かした協働の取り組みを進め、地域の一層の活性化と県民サービスの向上に努めることを目的とした協定です。

このたびの包括連携協定締結は、県民サービス向上や地域経済活性化を推進する広島県と、地域活性のお手伝いをしたいという当社意向が一致したため実現しました。

これまで、広島県は流通業界、大学等と協定を結んでおり、当社は12社目、広島県内企業としては４社目、広島県内のメーカーとしては、初となります。

▲湯﨑知事（左）と協定締結式にて

【協定の概要】

1．協定の名称
「広島県とアヲハタ株式会社との包括的連携に関する協定」

2．締結の目的
広島県とアヲハタ株式会社は、緊密な相互連携と協働による活動を推進することにより、地域のさまざまな課題に迅速かつ適切に対応し、県民サービスの向上および地域活性化を図る。

3．連携事項
(1) 瀬戸内ブランドの推進や県産品の販売促進に関すること
(2) 県政情報の発信、観光振興に関すること
(3) 教育・文化の振興に関すること
(4) 健康増進・食育に関すること
(5) 環境対策・リサイクルに関すること
(6) 地域の安全・安心に関すること
(7) 障がい者支援に関すること
(8) 子育て支援に関すること
(9) その他、県民サービス向上、地域社会活性化に関すること

トピックス

フードバンクの取り組み（ジャム工場、芸南食品㈱）

当社は、地域に根付いた活動が特徴で基幹事業としてフードバンク活動＊をおこなっている特定非営利活動法人「あいあいねっと」様の活動に賛同し、2013年1月より ジャムや介護食などの商品を定期的に寄贈しています。

こうした寄贈品は、地域の生活弱者や福祉団体などに届けられています。

▲当社商品を「あいあいねっと」様（左）に寄贈

＊フードバンク

食品関連企業他より市場価値のなくなった食品等（以下、規格外等）の寄贈を受け、福祉施設や生活困窮者の支援団体にて無償で届ける活動の場です。規格外等の食品を正しく届けることができる仕組みを持った公益システムとして、様々な利用者へ新しい流れを提供していくものです。

（フードバンクガイドライン２０１０より）

アヲハタ奨学金基金への寄付で紺綬褒章受章

創業の地であり、本社所在地でもある広島県竹原市で、当社グループからの寄付金をもとに社会に貢献できる人材を育成することを目的として、2001年9月に「アヲハタ奨学金基金」が設立されました。

この制度は、大学に進学を予定している人のうち、「本人または保護者が竹原に居住している」「学力優秀である」「経済的理由により、修学が困難である」という方を対象にした給付型の奨学金制度です。

設立以来、長年「アヲハタ奨学金基金」に対する継続的な寄付をおこなっていますが、2012年5月30日付で「公益のため多額の私財を寄付したこと」について、「紺綬褒章＊」を受章いたしました。

「アヲハタ奨学金基金」は、毎年2名の大学生に奨学金を給付し、現在までに14名の方々が大学を卒業されています。

＊紺綬褒章

公益のために私財（500万円以上）を寄附した者を対象とする紺綬褒章は、表彰されるべき事績の生じた都度、各府省等の推薦に基づき審査をし、授与をおこなっています。

（内閣府のウェブサイトより）

お客様とともに

お客様の「Quality of Life」の向上に寄与する「食」の提供を中心としたさまざまな取り組みを通じて、アヨハタグループおよびその製品・サービスがお客様から愛される存在であることを目指します。

「アヨハタ ジャムデッキ」 開設１周年を迎えました

ジャムに関する情報発信拠点として開設した「アヨハタ ジャムデッキ」は、2013 年４月５日に開設１周年を迎えました。１年間で 14,918 名の方に来場していただきました。

また、ジャムの用途拡大の提案として、2013 年１月 23 日にジャムを使った料理教室＆「おいしい紅茶のいれ方」セミナーを、「アヨハタ ジャムデッキ」にて開催しました。これからもジャムに関するイベントを企画・開催してまいります。

▲来場者 10,000 人超え記念イベント

▲ジャムを使った料理教室

▲おいしい紅茶の入れ方セミナー

ジャム工場の見学＆ジャムづくり体験を受け入れています

「アヨハタ ジャムデッキ」には、アヨハタジャムの特長や当社の取り組みなどを紹介するコーナーも設けており、工場見学やジャムづくり体験を通して、私たちの味づくりに対する考え、工場での衛生管理、製品の特長などを知っていただきたいと考えています。

「アヨハタ ジャムデッキ」は完全予約制ですので、事前にお電話にてお申込みください。見学ご希望日の２か月前の１日（休日の場合は翌営業日）から１週間前まで予約を受付いたします。下表の２つのコースから、いずれかをお選びください（予約状況はホームページ上で確認できます）。

お問い合わせ・予約お申し込み先

●アヨハタ ジャムデッキ

〒 729-2316

広島県竹原市忠海中町１- ２- ４３

ＴＥＬ（０８４６）２６－１５５０

ＦＡＸ（０８４６）２６－１５５１

（予約受付時間：火～土・9:00 ～ 18:00）

更に詳しいご案内は、ウェブサイトをご確認ください。

http://www.aohata.co.jp/jamdeck/

コース名	工場見学コース	ジャムづくり体験＆工場見学コース
見学可能日	火曜日～土曜日 （祝日・年末年始はお休みさせていただきます。その他指定休日あり）	
開始時間	〔AM〕9:30 ～ 10:30 〔PM〕13:00 ～ 15:00	〔AM〕9:30 〔PM〕13:30
対象	全年齢 （小さなお子様は、保護者の方同伴）	中学生以上 （小学生は保護者の方と２人１組で体験可能）
所要時間	約１時間 30 分	約２時間 30 分 （工場見学を含む）
料金	無料	１セット 800 円（１セット：200g 入りのビン４本）
最大人数	80 名	33 名
	（原則として、他のグループの方と合同でおこないます）	

お取引先とともに

「良い製品」の提供のため、お取引先と共同しておこなうさまざまな取り組みを通じて、お取引先と当社グループが共に発展する関係の構築を目指します。

お取引先と共に品質をつくりこんでいます

トップ同士の交流でパートナーシップの構築

当社グループの果実原料産地は、時代とともに世界各地に広がっています。安全で安心な原料を調達するには、お取引先との信頼関係の積み重ねがないとできません。当社グループの品質に関して、ご理解いただけるお取引先とトップ同士の交流などパートナーシップを構築しながら取り組んでいます。

▲海外原料お取引先とのトップ交流

原料から品質をつくりこむ

安全で美味しい原料を調達するため現地では育苗、栽培から一次加工* まで当社グループの技術者が出向き技術交流などをおこなっています。

＊一次加工：当社でそのまま使用できるように、収穫してから洗浄、選別、凍結する工程です。

▲海外産地の生産者の方と

品質向上のための DQC 活動に取り組んでいます

当社グループで製造する製品の原資材には農産品以外に、砂糖やペクチンなどさまざまな加工原料や、容器・ダンボールなどがあります。安全・安心な製品を生産するためには、これら原資材の品質はとても重要な要素になります。原資材の品質を維持・向上させるべく、お取引先の原資材メーカーとは品質管理情報・リスク管理情報を共有化し、お客様目線での品質向上に継続して取り組んでいます。当社ではこの共同活動を「DQC」と称し、原資材調達における品質追求の重要な活動と位置付けています。

▲資材メーカーとの勉強会

株主・投資家とともに

1998年、当社は会社創立50周年を記念して広島証券取引所に株式を上場しました(現在は、東京証券取引所市場第2部に上場しています)。上場企業としての社会的責任を自覚し、企業価値の持続・継続的な向上に努めます。

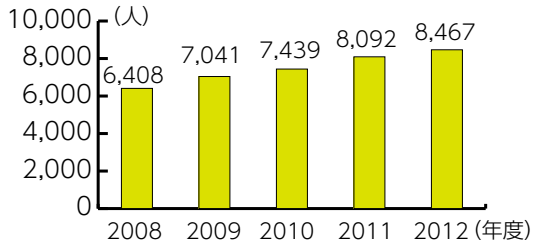
株主数の推移と株主構成

株式市場への関心の高まりや個人投資家の増加に加え、当社が2003年3月に一単元の株式数を1,000株から100株に変更したこともあり、株主数が大幅に増加しました。その後も順調に増加しています。

人数ベースの株主構成（2012年10月末現在）では、99.1%が「個人」となっています。

今後とも個人投資家を意識した株主づくり、アヲハタファンづくりに努めてまいります。

過去5年間の株主数推移



会社情報の適時適切な提供

投資家の皆様への適時適切な会社情報の開示は、健全な証券市場の根幹をなすものであると認識しています。

会社情報の適時適切な提供について、真摯な姿勢で臨むことを基本方針とし、迅速、正確かつ公平な会社情報の開示を適切におこなえるよう社内整備の充実に努めています。

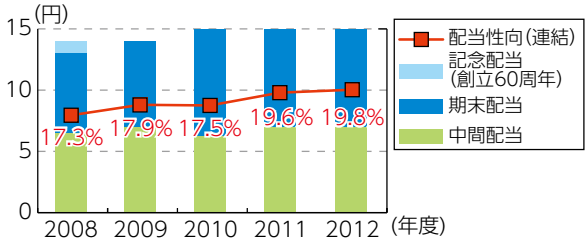
当社ホームページ上では、「投資家の皆様へ」と題するページを設け、会社情報を発信しています。

安定的な配当の継続を基本とした利益還元

株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しています。

利益配分につきましては、安定的な配当の継続を基本としつつ、連結業績および連結ベースの配当性向を勘案したうえで実施していく方針です。

1株当たり配当金と配当性向（連結）の推移



株主総会のビジュアル化と試食会などの開催

株主の皆様への営業概況の報告では、より分かりやすくするため、スクリーンに数値やグラフ、写真などを表示し、ビジュアル化（視覚化）しています。また、株主総会後には、事業内容の理解促進、株主様と役員とのコミュニケーションなどを目的として試食会と工場見学会を開催しています。

▲株主総会後の試食会の様子

株主優待制度のご紹介

当社では株主優待制度として、毎決算期末時点（10月31日）、100株以上ご所有の株主様に対して、当社製品詰め合せを贈呈しています。

＊ご参考：写真は2012年度の優待品です。

▲100株以上1,000株未満の株主様への優待品（1,000円相当）

▲1,000株以上の株主様への優待品（3,000円相当）

仲間とともに

企業が持続発展するためには、従業員が健康で、明るく、のびのびとその力を発揮することが必要です。会社と従業員が相互信頼のもとで共に高めあう企業文化の構築を目指します。

「あいサポート」企業に登録し、研修等を受講しています

2013年3月18日、広島県と当社は、「包括的連携に関する協定」を締結しました。連携事項のうち「障がい者支援に関すること」の一環で、「あいサポート」* 企業に登録し、研修等を受講しています。

あいサポート企業・団体とは、社員等を対象として、テキスト「障害を知り、共に生きる」を読むことを推奨することや、あいサポーター研修等に取り組んでいく企業・団体等のことです。

▲認定証

＊あいサポート
「愛情」の「愛」、私の「I」に共通する「あい」と、支える、応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障がいのある方を優しく支え、自分の意志で行動することを意味しています（広島県は平成23年10月11日からスタート）。

継続的にコンプライアンスに対する意識を高めています

当社グループでは、コンプライアンスに対する意識を高めるため、継続的な取り組みをおこなっています。

○「コンプライアンス・カード」および「セクハラ防止ガイドライン」の配布

「アヲハタ行動規範」の要約版および内部通報制度「コンプライアンス110番」の利用の手引きを記載した「コンプライアンス・カード」およびセクシャル・ハラスメントを防止するためのガイドブック「セクシャル・ハラスメント防止ガイドライン」を作成し、全役職員に配布しています。

▲コンプライアンス・カード

▲セクシュアル・ハラスメント防止ガイドライン

○ 2012年に実施したコンプライアンス研修

テーマ「基本的な法律関係の知識、職場のセクハラ・パワハラ防止」

時　期：2012年2月
対　象：営業本部（約25名）

テーマ「職場のセクハラ・パワハラ防止」

時　期：2012年11月
対　象：芸南食品㈱（約130名）（社員全員対象）

また、毎年、新入社員研修において「アヲハタ行動規範」の解説・徹底をおこなっています

▲コンプライアンス研修

仲間とともに

アヲハタドライバー会による交通事故防止の啓発活動を展開しています

「アヲハタドライバー会」は、仲間の中から交通事故の加害者・被害者を出さないことを願い、1978 年に発足しました。公私にわたり交通法規を順守し、安全運転をおこなうべく交通事故防止の啓発活動を展開しています。また、継続して社内報に会員の運転中の体験を掲載し、安全運転の意識付けをおこなっています。

▲電子社内報の掲載記事
「私のヒヤリハット体験」

安全衛生活動に取り組んでいます

社是に「安全と衛生を第一とすること」を掲げ、「働く人々の安全と健康は全てに優先する」を標榜する当社では早くから安全衛生についての取り組みを続けてきました。

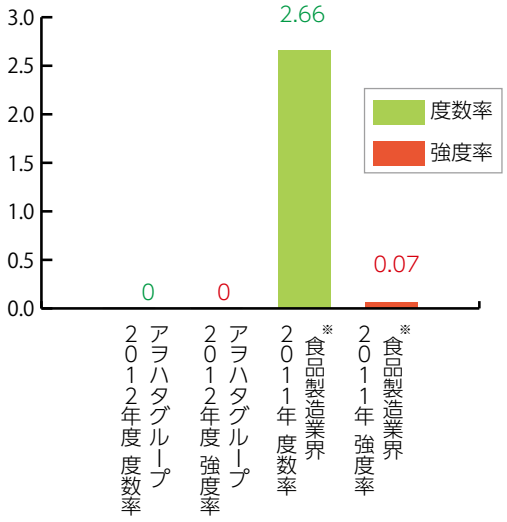
■ 度数率と強度率でみる労働災害の状況

度数率は、100 万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表わしたものです。

強度率は 1,000 のべ実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重篤度を表わしたものです。

$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{のべ実労働時間数}} \times 1{,}000{,}000$$

$$\text{強度率} = \frac{\text{労働損失日数}}{\text{のべ実労働時間数}} \times 1{,}000$$



※食品製造業界の度数率と強度率は、厚生労働省発表の資料「産業、事業所規模別労働災害率及び死傷者 1 人平均労働損失日数」から「食料品、飲料・たばこ・飼料製造業（500～999 人規模）」の数値を引用しました。

■ 従業員の健康管理

産業医による健康相談日を設けており、社員が気軽に相談ができるほか、健康保険組合主催のヘルスアップキャンペーンへの参加を奨励したり、労働衛生週間の際には講演会を開催するなど啓発活動を展開しています。また、メンタルヘルスに関しては精神科の医師と嘱託医契約を結び、専門的な見地からアドバイスを得ています。

さまざまな機会を活用して、会社から情報発信し、社員の健康づくりをサポートしています。

▲産業医を講師に招き
メンタルヘルスについての勉強会を開催

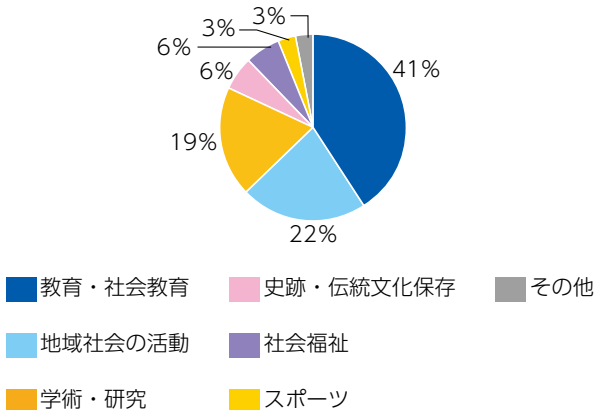
▲社内報で安全・衛生の話題を提供

地域・社会とともに

地域に根ざした企業であることを自覚し、共に持続的に発展するために地域・社会から好ましい存在として信頼され、より良い企業市民となることを目指します。

地域・社会貢献活動への継続的支援

当社グループの 2012 年度社会貢献活動関連支出額は、5,296 千円、連結経常利益比率は、0.6％でした。



株主優待制度

ここ数年、株主優待品の中に地元の社会福祉法人聖恵会「ワークホーム聖恵」でつくられた「押花の栞」や「たんざく箋」などを同封しており、今年も「竹原市障害者自立支援協議会」のマスコットキャラクター「かぐやパンダ」のメモ帳を同封しました。

マイロード活動に参画

当社は「NPO 法人ひろしまアダプト」に入会し、アダプト活動＊（マイロード活動）に参画しています。

広島県アダプト制度は、住民団体・学校・企業などが、ボランティアで道路・河川の美化・清掃などに取り組む仕組ですが、当社はマイロード活動として、地元の県道東広島本郷忠海線の忠海駅前から 100m にわたっての清掃活動を実施しています。

＊アダプト活動

地域住民や企業の従業員が、ボランティアで道路や河川を清掃、緑化、草刈をして、わが子のように面倒をみていく活動を「アダプト活動」と呼んでいます。

社員が積極的にボランティア活動に取り組めるよう支援しています

当社グループでは、間接的な社会貢献施策の一環として、社員が積極的にボランティア活動に取り組めるよう支援しています。

支援策の一つは、「ボランティア休暇制度」で、社員が「環境保全活動」「地域社会活動」「社会福祉活動」などのボランティア活動に参加する場合、年間７日間のボランティア特別休暇を取得することができるという制度です。

もう一つは、「ボランティア活動に関する情報提供」で、近隣のボランティア情報を収集し、掲示板や社内報などを活用して広く社員に提供しています。

また 2009 年５月からボランティア活動などに関する「ポイント制度」をスタートさせ、社員がボランティア活動へ参加しやすい環境づくりをおこなっています。

▲地元河川の清掃活動に参加した時の様子

集計範囲：アヲハタグループ生産３工場
対象期間：2011 年 11 月 1 日～ 2012 年 10 月 31 日
（注）表示単位未満を四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります。

環境保全コスト（事業活動に応じた分類）

当期の環境保全設備投資額は、51,434 千円となりました。当期の設備投資の主要なものとしては、全工場の排水処理設備の増強、省エネ設備の更新、省資源設備の増強などです。

当期の費用額は、139,403 千円で前年度と比較すると 2,261 千円（1.6%）増加しています。これは排水処理と省エネ設備等の償却費用の増加によるものです。

（単位：千円）

分類		主な取り組みの内容	2012 年度		2011 年度	
			投資額	費用額	投資額	費用額
（1）事業エリア内コスト			51,434	108,391	37,676	102,748
内訳	（1）－１公害防止コスト	排水処理能力アップ工事、サクションスクリーン更新、排水終沈槽撹拌器減速機更新等	28,877	65,725	6,946	61,613
内訳	（1）－２地球環境保全コスト	省エネ設備、チラー、冷凍冷蔵庫更新等	5,516	7,577	22,329	6,014
内訳	（1）－３資源循環コスト	歩留向上、廃プラ圧縮機等	17,041	35,088	8,401	35,121
（2）上・下流コスト		容器包装材の再商品化義務費用	0	18	0	27
（3）管理活動コスト		ＩＳＯ１４００１費用、構内美化緑化費用	0	28,624	0	32,405
（4）研究開発コスト		容器の軽量化研究人件費	0	1,990	0	1,543
（5）社会活動コスト		環境保全団体等への寄付	0	380	0	419
（6）環境損傷対応コスト		なし	0	0	0	0
合　計			51,434	139,403	37,676	137,142

環境保全対策に伴う経済効果（実質的効果）

排出物のリサイクルによる売却益は、市況の変化により前年比 12.1%減の 3,217 千円で、費用の節減効果が 32,528 千円となり、前年比 8.0%減少しました。

（単位：千円）

効果の内容		金額（2012 年度）	金額（2011 年度）
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクル又は使用済み製品等のリサイクルによる事業収入	3,217	3,659
費用節減	排水処理費用の削減	5,523	7,375
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	11,936	11,073
費用節減	省資源又はリサイクルに伴う廃棄物処理費の節減	11,852	13,239
費用節減	容器包装等の環境負荷低減のための追加的取り組み	0	0
合　計		32,528	35,346

環境保全効果

環境保全効果については、総エネルギー投入量、二酸化炭素の排出量は多品種少量品目が多くなり増加しましたが、製造工程の改善をおこない、水資源の投入量は 5,333 ㎥（1.1%）削減し、環境負荷を低減することができました。排出物については商流の変化により、総排出量が 50t(2.9%）増加しました。今後とも、エネルギーの消費量を含めた温暖化防止策に重点をおいた環境投資を継続してまいります。

（単位：kℓ、㎥、ｔ）

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標（単位）	2012 年度	2011 年度（基準期間）	基準期間との差（環境保全効果）
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量（原油換算kℓ）	5,173	5,049	124
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	水資源投入量（㎥）	471,175	476,508	-5,333
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量（ｔ -CO_2）	12,233	11,944	290
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	廃棄物等総排出量（ｔ）	1,815	1,765	50
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	廃棄物最終処分量（ｔ）	15	15	0
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	総排水量（㎥）	423,905	439,511	-15,606
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	水質（COD）（ｔ）	10	11	-1
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	NOx 排出量（ｔ）	9	5	4
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	SOx 排出量（ｔ）	41	18	23

アヲハタ㈱ジャム工場

Input

原料
- 全原料　14,296 t

容器・包装資材
- ガラスびん　8,051 t
- プラスチック容器　113 t
- 金属缶（蓋）　485 t
- ダンボール　1,143 t
- その他　0 t

エネルギー
- 電力　43 千GJ
- 燃料　38 千GJ
- 用水　93 千㎥

Output

商品（容器含む）
25,799 t

大気排出
- CO_2　4,631 t
- NO_x　0 t
- SO_x　0 t

排水
- 排水　97 千㎥

廃棄物
- 再資源化　920 t
- 焼却・埋立　6 t
- 有価率　54 %

再資源化率 99.4%

東北アヲハタ㈱

Input

原料
- 全原料　5,785 t

容器・包装資材
- ガラスびん　0 t
- プラスチック容器　201 t
- 金属缶（蓋）　270 t
- ダンボール　602 t
- その他　3 t

エネルギー
- 電力　26 千GJ
- 燃料　40 千GJ
- 用水　229 千㎥

Output

商品（容器含む）
9,019t

大気排出
- CO_2　4,270 t
- NO_x　7 t
- SO_x　30 t

排水
- 排水　215 千㎥

廃棄物
- 再資源化　366 t
- 焼却・埋立　2 t
- 有価率　58 %

再資源化率 99.4%

芸南食品㈱

Input

原料
- 全原料　5,462 t

容器・包装資材
- ガラスびん　707 t
- プラスチック容器　180 t
- 金属缶（蓋）　39 t
- ダンボール　657 t
- その他　0 t

エネルギー
- 電力　28 千GJ
- 燃料　25 千GJ
- 用水　149 千㎥

Output

商品（容器含む）
8,325 t

大気排出
- CO_2　3,333 t
- NO_x　2 t
- SO_x　12 t

排水
- 排水　111 千㎥

廃棄物
- 再資源化　514 t
- 焼却・埋立　7 t
- 有価率　35 %

再資源化率 98.6%

①アヲハタ株式会社 ジャム工場

②東北アヲハタ株式会社
（グループ会社）

③芸南食品株式会社
（グループ会社）

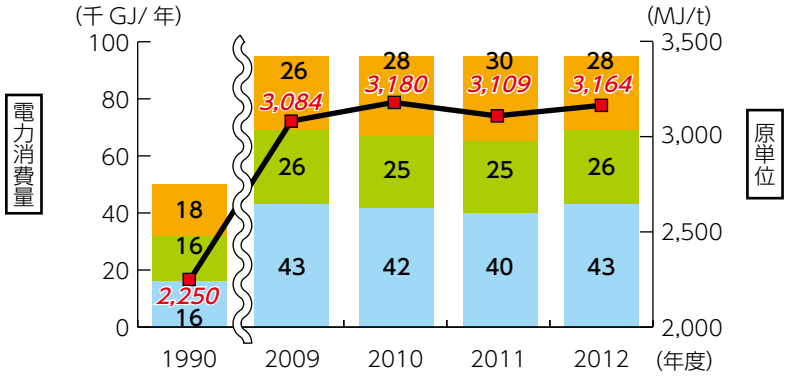
●電力消費量

2012 年度における電力消費量は下記の通りでした。

電力消費量　　97 千 GJ/ 年

生産原単位　　3,164MJ/ t

2011 年度に対し電力消費量で 2.0%、原単位で 1.8%増加しました。



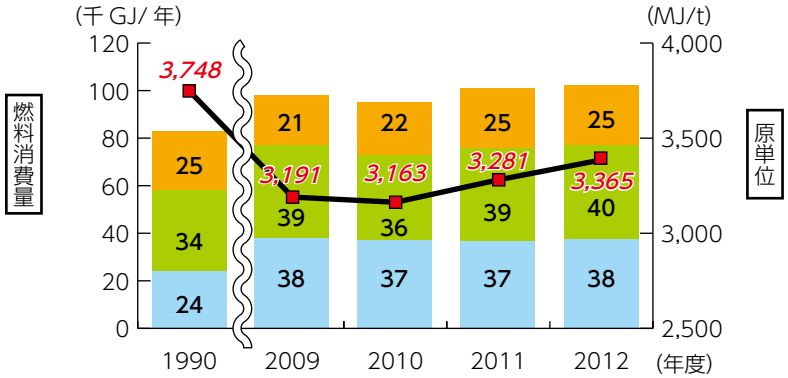
●燃料消費量

2012 年度の生産における燃料消費量は下記の通りでした。

燃料消費量　103 千 GJ/ 年

生産原単位　3,365MJ/ t

2011 年度に対し燃料消費量は 2.8%、原単位は 2.6%増加しました。



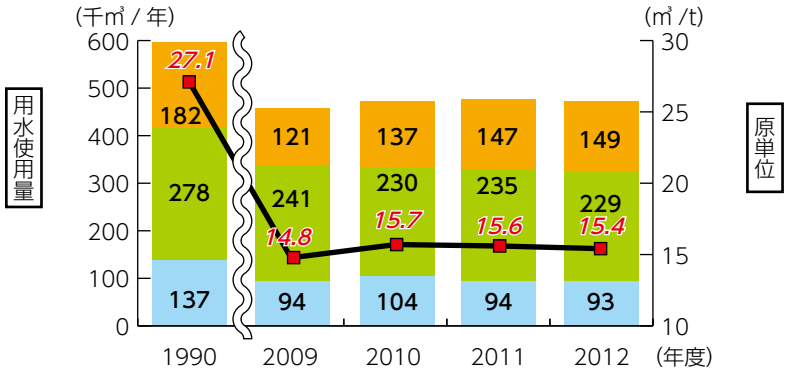
●用水使用量

2012 年度の生産における用水使用量は下記の通りでした。

用水使用量　471 千㎥ / 年

生産原単位　15.4 ㎥ / t

2011 年度に対して用水使用量は 1.1%、原単位で 1.3%削減しました。



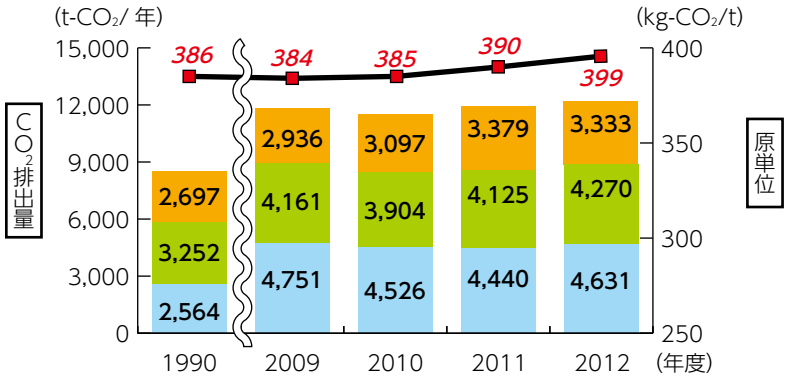
● CO_2排出量

2012 年度の生産におけるCO_2排出量は下記の通りでした。

CO_2排出量　12,233t-CO_2/ 年

生産原単位　399Kg-CO_2/ t

2011 年度に対して CO_2 排出量は 2.4%、原単位は 2.3%増加しました。



ジャム工場　東北アヲハタ㈱　芸南食品㈱　原単位

アヲハタ株式会社の概要（2013 年 4 月 30 日現在）

- 商　号　　アヲハタ株式会社
- 創　業　　1932 年 12 月
- 設　立　　1948 年 12 月
- 資本金　　6 億 4,440 万円
- 事業所　　本　　社／広島県竹原市忠海中町一丁目 1 番 25 号
  営業本部／東京都渋谷区神宮前六丁目 10 番 9 号
  原宿董友ビル
  ジャム工場／広島県竹原市忠海中町一丁目 2 番 43 号

グループ会社（国内）

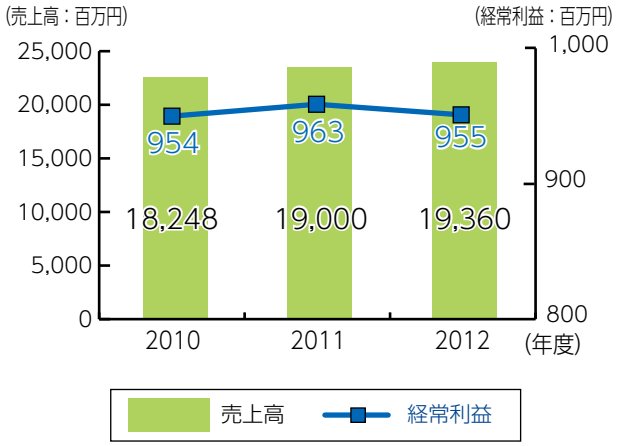
東北アヲハタ株式会社
芸南食品株式会社
テクノエイド株式会社
株式会社エイエフシイ
レインボー食品株式会社

グループ会社（海外）

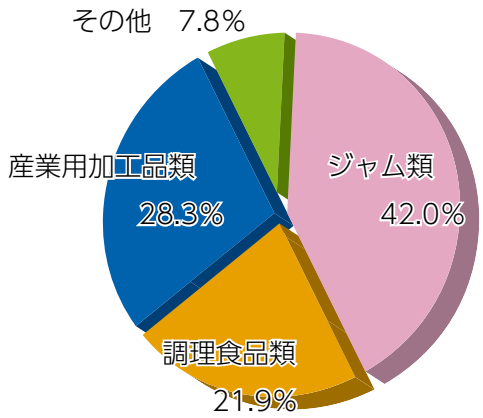
杭州碧幟食品有限公司（中国）
烟台青旗農業科技開発有限公司（中国）

アヲハタグループは、アヲハタ㈱とグループ企業 7 社（国内 5、海外 2）で構成され、ジャム類（ジャム、マーマレードなど）、調理食品類（パスタソース、料理用ソースなど）、産業用加工品類（フルーツ・プレパレーション：主としてヨーグルト用フルーツソース）などの食料品の製造および販売を主な事業内容とし、その他に関連事業として原材料の購入販売およびその他サービス業などの事業活動をおこなっています。

売上高・経常利益推移（連結）



売上高構成比（連結・2012 年度）



主要製品

ジャム類

アヲハタ 55 ジャム

アヲハタ トラディショナルジャム

アヲハタ まるごと果実

アヲハタ カロリー50%カットジャム

産業用加工品類

産業用果実加工品
(写真はイメージです)

調理食品類

キユーピー ミートソース

キユーピー Italiante

キユーピー3分クッキング
パスタのためのオイルソース

キユーピー
あえるパスタソース

キユーピー やさしい献立

その他

レインボー食品㈱の製品

発行・連絡先
アヲハタ株式会社　経営推進本部　総務部

〒729 - 2392　広島県竹原市忠海中町一丁目 1 番 25 号
ＴＥＬ：0846-26-0111　ＦＡＸ：0846-26-0537
ＵＲＬ　http://www.aohata.co.jp/

この冊子は、大豆インキを使用して印刷しました。
この冊子には活字の一部にユニバーサルデザイン書体を使用しています。

古紙パルプ配合率100％再生紙を使用

表紙写真：JAPACK